

令和7年度栗源小学校教育活動に関するアンケート（前期）

学校教育目標

◎心豊かで、向上心に富む児童の育成～地域とともに歩む学校運営の実践を通して～

学校評価 保護者アンケートの結果（令和7年10月実施）

4：そう思う 3：ほぼそう思う 2：あまり思わない 1：思わない

番号	質 問 項 目	回答割合（％）	
		4・3	2・1
1	学校は、教育方針やいろいろな情報（おたより・ホームページ・学校参観等で）をわかりやすく伝えている。	93.9%	6.1%
2	学校は、子どもたちの健康管理や安全確保に努めている。	96.2%	3.8%
3	学校は、思いやりのある豊かな心を育てようとしている。	95.4%	4.6%
4	学校は、子どもたちの健康や体力の増進に努めている。	98.5%	1.5%
5	学校は、子どもたちの学力が向上するよう努めている。	91.6%	8.4%
6	学校は、一人一人の特性に配慮した指導に努めている。	82.8%	17.2%
7	学校は、PTAや地域と連携を図っている。	93.1%	6.9%
8	学校の施設や花壇、教室等の環境は整えられている。	94.7%	5.3%
9	学校にお子さんの気がかりなことを気軽に相談できる。	87.7%	12.3%
10	学校行事や授業参観は、参加しやすいように工夫されている。	93.1%	6.9%
11	教職員は、電話や来校時などの時、適切に対応している。	94.7%	5.3%
12	教員は、わかりやすく授業をしようとしている。	95.4%	4.6%
13	教員は、子どもたちの気持ちを大切にして指導している。	85.5%	14.5%
14	教員は、いじめや仲間はずれがないよう指導している。	93.1%	6.9%
15	お子さんは、楽しく登校している。	93.9%	6.1%
16	お子さんは、よく学校のことを話している。	85.5%	14.5%
17	ご家庭では、お子さんに物事の善悪・社会のルールや言葉遣い・挨拶などを必要に応じて教えている。	96.2%	3.8%
18	ご家庭では、基本的な生活習慣（早寝早起き・歯磨き・食べ物の好き嫌いなど）が身に付くように教えている。	91.6%	8.4%
19	ご家庭では、連絡帳やおたよりを確認している。	89.2%	10.8%
20	家庭教育学級の活動は、ご家庭でお子さんとかかわったり、指導したりするときに役立っている。（1年生のみ）	93.3%	6.7%

令和7年度前期の「教育活動に関するアンケート」へのご回答ありがとうございました。集計によりわかる成果と課題、さらに記述によるご意見に対し、学校でも分析と検討を行い、改善を図って参ります。その際には、保護者様のご理解とご協力をお願いすることもございますが、子どもたちにとって「よりよい学校教育活動」のために、今後ともお力添えをいただけますよう、お願いいたします。

◇質問項目の回答からみる結果の概要◇

- 〈肯定的回答が95%より高い項目〉・・・2・3・4・12・17の5項目。
- 〈肯定的回答が90%より低い項目〉・・・6・9・13・16・19の5項目。
- ・15/20項目が90%より高い肯定的数値。
- ・最高数値・・・項目4の98.5%。最低数値・・・項目6の82.8%。
- *今後の分析及び考察について
- ・児童及び学校関係者のアンケート回答と比較し、共通点や差異から課題を明確にしていく。
- ・肯定的回答の3・4について、「3>4」の回答傾向がある。より高い「4」の回答が増加するための手立てを検討する。
- ・記述式によるご意見に対し、十分な考察を行い、改善策やお願いなどを伝えていく。

◇結果の考察◇

◎数値的には、かなり高い結果となりました。日頃よりご家庭・地域のご協力とご理解が高いことにより、学校教育はさらに充実し高まっています。今後ともよろしくお願ひします。

◎学校が基本的にめざすところの「知・徳・体」の育成及び健康教育（項目2・3・4・12）では、高い数値となりました。職員も「12分かりやすく授業をしている」のために、日々教材研究や授業改善を進めています。さらに児童・保護者の期待に応えられる教育を展開できるようにしていきます。

◎ご家庭での教育についても高い傾向が見られ、学校としても心強く感じています。

「17ご家庭では、お子さんに物事の善悪・社会のルールや言葉遣い・挨拶などを必要に応じて教えている。：96.2%」「18ご家庭では、基本的な生活習慣（早寝早起き・歯磨き・食べ物の好き嫌いなど）が身に付くように教えている。：91.6%」

学校が教育の場として、お子さまの可能性をさらに引き上げていくためには、その基盤である家庭の教育と支援の充実がとても大切です。子どもの気力が充実し、意欲があり、ものごとにきちんと向き合おうとする規範意識があることで、学校教育による健やかな育成を支えることになっています。家庭と学校の連携をさらに深めていきたいと考えています。

△「6学校は、一人一人の特性に配慮した指導に努めている。」：82.8%については、例年90%を超えていない課題があります。担任および学校職員は、子どもの成長を願っているのは保護者の方と同じです。一人一人のお子さんには確かに違う特性があります。これからもそれぞれのお子さんの気持ちに寄り添いながら、より高い効果を求めて指導・支援に当たって参ります。

△「9学校にお子さんの気がかりなことを気軽に相談できる。」：87.7%及び

「13教員は、子どもたちの気持ちを大切に指導している。」：85.5%についても例年わずかに低い傾向があります。学校が保護者の方にとって、一番の相談者になることができるよう、分かりやすい説明や相談窓口の周知、何よりも学校に連絡しやすい・足を運びやすい風土づくりをめざし、今後も努力して参ります。

△「16おさんは、よく学校のことを話している。」：85.5%

「19ご家庭では、連絡帳やおたよりを確認している。」：89.2%

お子さんの性格や、ご家庭の生活習慣にもよりますが、子どもの学校生活の充実にとって学校と家庭の連携は大切です。学校からの積極的な発信やご家庭で学校の話が盛り上がるような話題の提供ができる環境づくり等、さらに意識を高め、課題について改善の方法を見直していきます。